

登録コード	EKF02500	開講年度	2026				
授業科目	教科横断内容研究基礎				担当教員	松島 恒熙 他	
英文授業名	Relationship and common purpose among subjects of elementary school or academic disciplines				副担当	大井 和彦・佐久川 憲児・井田 勝大・渡辺 敏明 ・山岸 明浩	
単位数	1	講義期間	前期(後半)	曜日・時限	木曜・5時限		履修学年
講義室	教育M301 講義室			授業形態	演習	備考	
信大コンピテンシー	該当						
(1)【授業の達成目標】	【授業で得られる「学位授与の方針」】				⇔	【授業の達成目標】	
	2 6 E A カリ, 2 5 E A カリ, 2 4 E A カリ						
	教育の専門職としての学識・技能				⇔	個々の教科を横断的に学ぶことで、各教科の関係性、共通の目的について考え、体系的な児童生徒教科指導ができるようになる。	
	2 6 E A カリ, 2 5 E A カリ						
	既存の枠組みを超える柔軟な発想力と深い省察力				⇔	教科を超えた幅広い視点で各教科を捉え、授業展開の多角化および、自身の経験に基づいた柔軟な授業が展開できるようになる。	
(2)授業の概要	受講生は各自の課題・関心にもとづき、自ら探究的に授業研究・教材開発（教育実践開発研究）を行うため、関連する学問領域における知識の全体像（つながり・構造）を把握するとともに、当該領域のディシプリン（問い・探究・思考の方法）について理解を深める。						
(3)授業計画	第 1 回：ガイダンス、教科内容研究と教育実践 第 2 回：国語科と教科横断的な学び 第 3 回：家庭科と教科横断的な学び 第 4 回：保健体育科と教科横断的な学び 第 5 回：音楽科と教科横断的な学び 第 6 回：社会科と教科横断的な学び 第 7 回：数学科と教科横断的な学び（授業アンケート）						
(4)成績評価の方法	各研究領域での内容が理解できているかを図る課題レポートや、演習による研究発表に関わる討論によって各研究課題に対する問題意識の深化を評価する。 ・得点率による評価基準は次のとおりとする。 90%以上 秀, 89-80% 優, 79-70% 良, 69-60% 可, 59%以下 不可						
(5)履修上の注意	各回の講義内容に関連した文献等を事前に図書館などで自主的に検索・収集して調べること。また、各回の講義で話題になったことについて、事後に自分で調べて考察を深めること。詳細な授業日程や学習内容はガイダンスで提示する。						
(6)質問,相談への対応および連絡先	オフィスアワー：担当教員への質問・連絡方法は、各自で担当教員と相談すること。						
(7)成績評価の基準	卓越している：教科の知識・方法・原理（概念）を高度に理解するとともに、探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、高度な成果を示している。 かなり上にある：教科の知識・方法・原理（概念）を的確に理解し、積極的な探究姿勢をもって課題演習・実技課題等に取り組み、良好な活動成果を示している。 やや上にある：教科の知識・方法・原理（概念）をおおよそ理解し、与えられた課題演習・実技課題等に誠実に取り組み、そこそこの活動成果を生み出している。 水準にある：教科の知識・方法・原理（概念）の基本を最低限理解するとともに、与えられた課題演習・実技課題の一部は誠実に取り組み、努力の認められる活動成果を示している。						
(8)事前事後学習の内容について	各回の講義内容に関連した文献等を事前に図書館などで自主的に検索・収集して調べること。また、各回の講義で話題になったことについて、事後に自分で調べて考察を深めること。事前事後で1時間以上の学習が求められる。						
【教科書】	・適宜提示する。						
【参考書】	・適宜提示する。						